

平成30年度  
生涯学習に関するアンケート  
集計結果  
(設問29 自由記述)

立川市教育委員会  
生涯学習推進センター

# 調査概要

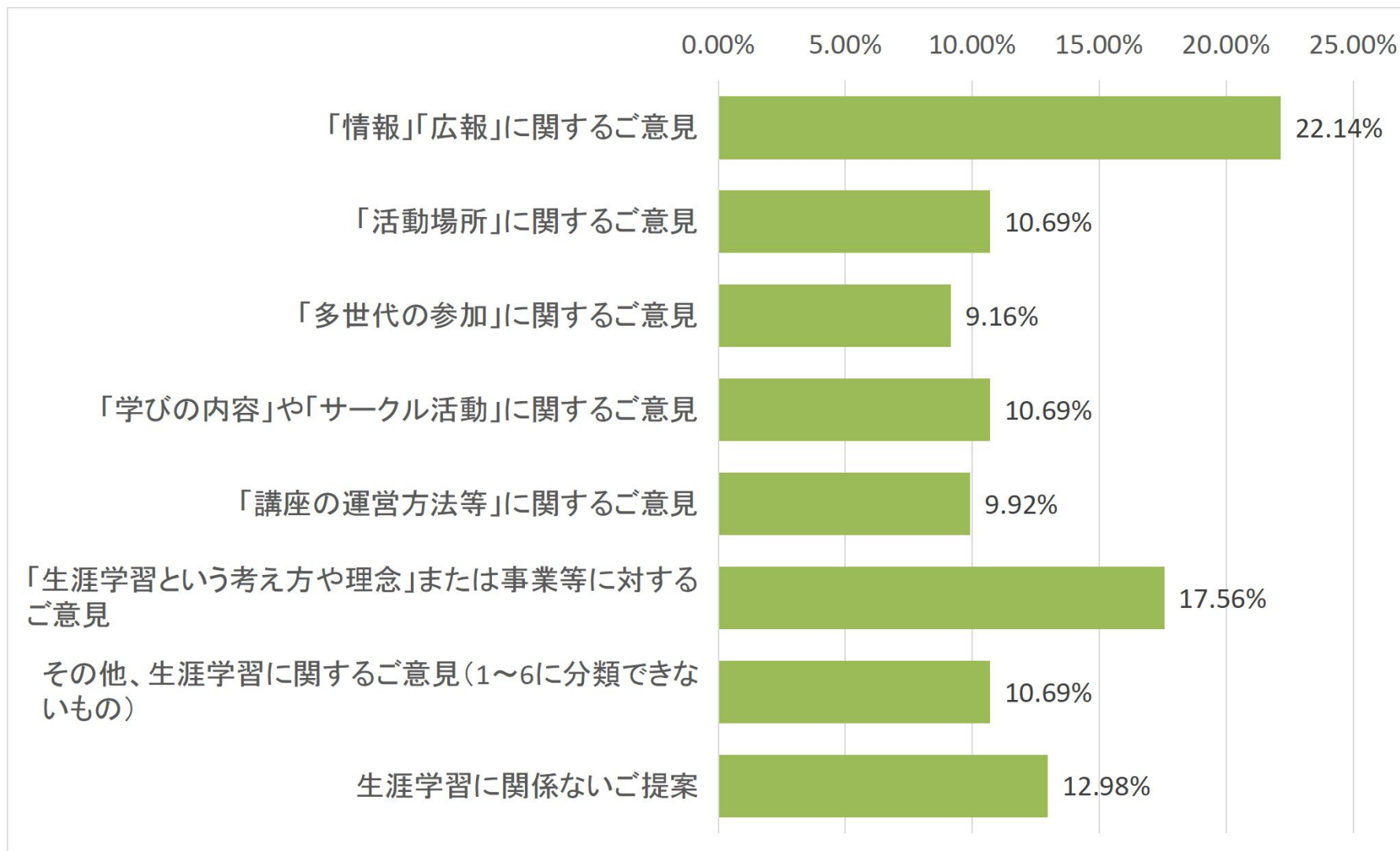
- 調査名： 生涯学習に関するアンケート
- 実施期間：平成30年10月2日～  
平成30年10月31日
- 対象者： 市内在住18歳以上の市民2,000人
- 回答者： 629人(回収率約31.5%)

(29)今後の立川市の生涯学習への取り組みについて、アイデアやご提案、ご意見がありましたら、ぜひお聞かせください。(自由記述)

	回答内容の分類 (複数のご意見を回答された方もいるため、有効回答数と下記回答数合計は異なります)	回答数 (延べ)
1	「情報」「広報」に関するご意見	29
2	「活動場所」に関するご意見	14
3	「多世代の参加」に関するご意見	12
4	「学びの内容」や「サークル活動」に関するご意見	14
5	「講座の運営方法等」に関するご意見	13
6	「生涯学習という考え方や理念」または事業等に対するご意見	23
7	その他、生涯学習に関するご意見(1～6に分類できないもの)	14
8	生涯学習に関係ないご提案	17
	合計	136

対象者	629
うち回答者(有効)	131
うち回答者(無効)	0
うち無回答(「特になし」などを含む)	498

(29)今後の立川市の生涯学習への取り組みについて、アイデアやご提案、ご意見がありましたら、ぜひお聞かせください。(自由記述)



## 情報・広報に関するご意見

- 講座をインターネットで予約できようにするのと、インターネットができない方への対応をお願いします。(40代女性)
- 健康、スポーツに関しての情報が少ない気がする。ダイエット関連の情報がほしい。(50代男性)
- 学校、体育館、グラウンド、学習館、地域公民館等で行っている学習(スポーツ)活動の内容を密に知らせることをお願いしたい。(40代女性)
- 市からの防災・防犯メールに案内やリンクを追加する。(50代男性)
- 広報活動が不十分である。勤務者に情報が届いていない。市民間の交流を活発化するイベント等を定期的に行い、草の根活動を推進すべき。(50代男性)
- 各地域での取り組みやセンターでの催し物などのお知らせがそのセンターや地域学習館に行かないと知られないものが多いので市報でもっとお知らせしてほしい。(30代男性)
- まず、市が行っている生涯学習の認知度が低いので、市民に認知させることが必要だと思う。認知があってその後行動につながる。(20代女性)
- 著名な大学の著名な先生の講座を高いお金を出して開講してもほとんど役に立たない。その講座を学ぶことで社会に貢献できたり、本当に実になるようなことを学びたい。何歳になっても楽しく学びそれを発表できたりより向上したいと思えるような学習の機会をぜひ作って欲しい。そしてそれを分りやすく伝えて欲しい、そういった情報は全くといって知らなかった、どこで得られるのですか？(50代女性)
- 立川市見守りメールのような講座の案内に配信するシステムを作り興味のある内容を登録して受けとれるようにする、またそのメールから申し込みできるようにする。(50代女性)
- セミナー講習、サークルなど、もう少し市のほうで盛り上げる必要があると思う。それらの(セミナー等)情報を誰もが簡単に収集できる仕組み作りも行ってもらいたい。(40代男性)
- 調査の集計結果は市のホームページで公表いたします。この一行を見て私は対象外だと思いました。パソコンもスマホもない私はホームページを見たことがありません。友人の3人聞いても知らないそうです。小学生でも自在に使いこなす時代にまだ私のような人間も生きていて、今は100歳生きる時代にまだ20年近く生きなければなりません。どうしたらよいでしょうか。(75歳以上女性)
- インターネットで講座を見れるようにしてほしい。(30代男性)
- 交流や生涯学習にふれ会いきっかけがない。(75歳以上男性)
- 生涯学習に関する取り組みをもっとPRするべき、周知されなければ講座の提供と人材の育成も意味がない。(40代男性)

- 生涯学習について一括して情報を得られる掲示板(インターネットによる)づくりは必要である。例えばスマホ用アプリで検索できるような方法を考えてみるとよいのではないのでしょうか、今後はスマホを使って活動する高齢の方も増えてくると思うので、生涯学習のとらえ方も現代のニーズに合わせて広げてもよいと思います。「生涯学習」という言葉に「学習」のイメージが強く反映されているのももう少し定義やとらえ方を「ラフ」なものに変えていくことも必要かもしれません。(40代男性)
- 自分から積極的に情報を得ようとしていない点に大きな非があるのですが「行政」の行っているサービスを把握できておりません。広報誌はたまに目を通していますが十分ではありません。どこの行政もそうですがもっと大々的にやっていること市民としてできること「市」をアピールすべきではないでしょうか？全体的におとなしいということです。(50代男性)
- 仕事が落ち着いてきた中高年や定年後の高齢者世代はもちろん、仕事が忙しい若年層も生涯学習に興味をもち、参加しやすくするために、インターネットでの情報発信(見やすく魅力的なウェブデザインも含めて)に力を入れることは必須だと思います。また、学びが具体的に何に結びつくのかというゴールを想像しやすくなると意欲も高まると思うので、実際の「生涯学習市民リーダー」の体験記事を年代(世代)別に発信してはどうかと思いました。(20代女性)
- 私自身が立川市の生涯学習に関して知らぬことが多くありました。地域の連絡網は皆無に等しく、約20年経ちましたが回など一切ありません。広報は定期的にポストに入っていますがあまり関心事はありませんでした。立川市のホームページを利用しようと思ったことはありますが、ネット環境にない私にとって、すぐに調べられる状況にはありません。定年退職後2年間のブランクはありましたが知人との会話で乗り気になった職業が見つかり現在、必要な資格を取得する為に手続きを済ませ、近日中に学習が始まります。前向きになれたのは関心になかった広報が引き金になったのは間違いないと思います。見てない様でも情報は切り取っていたのですね、助かりましたありがとうございます。(60代前半男性)
- 俺はやらないけど、これからはSNSの充実が鍵を握ると思う、インスタグラムで成果をのせたらたくさん来ると思う。(50代男性)
- 市の広報などで募集している講座の申し込みをネットでできるようにしてほしい。興味のある講座があっても、電話予約や往復はがきでの応募となっていることが多く、フルタイムで仕事をしていると応募するまでが面倒になり、見送ってしまう。(勤務中は電話できなし、郵便局が開いてる時間に帰れない)逆にネットに慣れていない世代の応募が少なくなってしまうのかもしれないが、それぞれの講座が対象とする世代があると思うので、若い世代向けのものからでもネット申し込みを取り入れて欲しい。(30代女性)
- 「きらりたちかわ」という情報誌がある事知りませんでした。はじめて知りました。生涯学習むずかしいです。1年か2年学べる所はあっても、さて、それから先が...(70代前半女性)
- SNSをもっともっと積極的に活用して、みんなに積極的に使えるようにしたい。(75歳以上男性)

- 「きらり・たちかわ」を立川市内にある駅に置いて欲しい。学習館や市役所などは用がないと行かないし、わざわざもらいに行くのは面倒です。(40代男性)
- たちかわ市民交流大学ってネーミングがわかりづらいと思います。学習だから大学ってつけるのかもしれないが何の大学？ってかんじです。「きらり・たちかわ」もこれだけきくとなんだかわからないし。もっとダイレクトに「たちかわ市民学習会」とか「生涯学習たちかわ」とか講座名にしても情報誌名にしても、わかりやすくした方が目にとまると思います。(50代女性)
- 生涯学習についてどのような講座があるのか、どこで行っているのか等、良く知らないので、SNSや立川市のHPで情報発信してほしい。情報を得られれば参加するかも知れない。(30代女性)
- イベント事(お祭りやスタンプラリーみたいなもの)を増やし、そのイベントに生涯学習の講座参加者にスタッフとしてイベントに携わってもらいイベント参加者に生涯学習について知ってもらうなど、認知の場を広げるべきだと思う。(10代男性)
- 立川市の取り組みが今イチよくわかりません。もっと積極的な広報が必要かと考えます。よろしくおねがいます。(40代男性)
- 生涯学習の場の人々を誘い出す工夫が必要では？人はややもすると家の中で横になっている事を好みます。生涯学習の楽しさなどを体験談、活動紹介の形で発信することを考えたらいかが？(60代後半男性)
- 広報たちかわ等々生涯学習を伝えていますが関心を持たない方もいらっしゃいました。高齢になり消極的になっているのかもしれない。友人知人に声かけしお誘いする方が確実かと思いました。(75歳以上女性)

## 活動場所に関するご意見

- 生涯学習いろいろ学びたいことありますが通う足がなくて思う様に通えません。年寄でも参加できることを考えてくださることを願っています。(75歳以上女性)
- 開催場所が不便な所にあり、参加しにくい。空き屋などを活用して身近な場所で行ってほしい。(50代女性)
- 上記にある「学校の図書館やグランドなどの開放」これについては強く力を入れるべきかと思います。私は20代の者ですが、今の子供は公園でボール遊びなどが出来ないなので道路で遊ぶ姿をよくみます。とは言え道路も車も出てくる場所の為、危ないです。しかし、それは「子供達が遊ぶ場所がないから」と私は思っています。大変だと思いますが、平日、土日、祭日開放すべきかと思います。(20代男性)
- 住まいの近くで簡単に参加出来るようなシステムがあれば良いと思う。どうやって参加するのかわからない。(75歳以上男性)
- 勉強するためのスペースがあると嬉しい。(20代男性)
- 今後の取り組みに期待します。又、地域のコミュニティの場でもある地域会館の充実と支援により市内地域の活性につながると考えます。(60代前半男性)
- 学習施設利用が個人や少人数の利用がしにくい(チャンスが得にくい)組織が大きくなって使用になれたところが優先(社会的に認められることは良いことだが)というイメージがある。少人数でも使用できるチャンスを増やせるよう曜日や時間などの設定や施設の空間、間仕切りを工夫できたらありがたい。工夫されていると感じられる施設もあるが、10名以上になるまでは大変。イメージは理解であるなら積極利用をしやすいことを知らせて欲しい。周知して欲しい。(60代後半女性)
- 車で参加出来るように駐車場の手配もしてもらいたい。(50代女性)
- 希望する講座が遠方にしかなく、近くの所でも受けられる様に設定して欲しい。どこでも共通にしてほしい。(60代後半男性)
- 講座に参加している時、同じ施設内で子供を安全に預かってもらえる講座を増やして欲しい。(30代女性)
- 立川市の在住は浅いが、よそに比して文化的な取組が少ないような気持ちがある！たまに参加したいと思う時も地形的に不便なのでよそに通っている(※市の中心駅近に作ってほしい)(70代前半女性)
- 学習するための施設として学習館がありますが設備が不足している(又は老朽化している)教室にプロジェクター(又は大型モニター)、インターネット環境(Wi-Fi)など、現代の学習に必要な機材がないのが残念である。ネット環境が充実すれば教材や資料を持たずにクラウドにアクセスする事でスマートな講義や学習ができる。又、室内の机は講師、生徒のように向かい合うのは良いが皆が顔を会わせるように円卓にするのが大変である、次に学習館内でダンスなども行われているが、学習の妨げになる。学校の体育館等を活用して欲しい。最後に立川市の職員の方に多いのは相談しても積極的にサポートしてくれる方が少ない。どちらかと言えば「過去の例がない」と言ってさげられて市民あっての市の職員である事を理解し「市民優先」を第一にして欲しい。(50代男性)
- 早めのお知らせが欲しい日程が重ならない計画づくりにしたい。気軽に参加できる近くの施設で行う学習会が欲しい。(60代後半女性)
- すべての学習に乳幼児を預けられるようにしてほしい。自宅での学習は時間のある時にしか出来ませんし、質問も出来ない上、孤独も感じられます。(30代女性)



## 多世代の参加に関するご意見

- 生涯学習は老人を対象するものであると思うが、どの学習も老人ばかりであり、若者も活動する様、参加を促せば、老人と若者が共に楽しむ場となり交流を拓げる事が出来ると思います。(75歳以上男性)
- シルバー大学社交ダンスに2年間通っていました。大変有意義で友人もでき、今後もダンスを続けていこうと思います。残念なのは男性参加者が非常に少ないことです。どの講座や民間サークルなども同じ傾向だそうです。高齢男性が魅力を感じ、参加したくなるような講座ができればいいのにとと思います。(60代後半女性)
- 生涯学習と聞くと高齢者の為と思いがちだが、もっと子供達が気軽に参加出来るプログラムを充実させていただき、小さい頃から慣れ親しむ方がより一生に渡って定着してゆくと思う。(40代女性)
- 年配の方が多いのでは…と言うイメージがあります。参加してみたいと思っても気遣いなどで…結局、意見が言いえない、つまらない、などが重なって…みたいな話を聞いたりもします。興味を持つことから始まるので広報誌などは見るようにしようと思います。立川が好きになるよう…なかなか一歩がふみ出せない方は多いと思います。こう言うアンケートをきっかけに私も考えていこうと思います。アイデア提案でなくてすみません。(50代女性)
- 子供とかかわれるものがあると、忙しい家庭の子供をみてやれるし、親の気持ちの負担も減る、子どもも他人とふれあうことで人とのつきあいや気づかいを学べると思う。(50代女性)
- 私の目にする範囲では高齢者やフルタイムで働いていない人向けの企画ばかりなので、もっと社会人向けのものを増やしてほしいです。(30代女性)
- 学生向けに生涯学習を通じて学校での学習や就職の手助けになるような活動を増やすべき。(20代男性)
- 障害(耳)があっても集える場があると良い。(75歳以上男性)
- 市の広報などで募集している講座の申し込みをネットでできるようにしてほしい。興味のある講座があっても、電話予約や往復はがきでの応募となっていることが多く、フルタイムで仕事をしていると応募するまでが面倒になり、見送ってしまう。(勤務中は電話できなし、郵便局が開いている時間に帰れない)逆にネットに慣れていない世代の応募が少なくなってしまうのかもしれないが、それぞれの講座が対象とする世代があると思うので、若い世代向けのものからでもネット申し込みを取り入れて欲しい。(30代女性)
- 生涯学習の枠組みを年齢で区切らないで欲しい、あらゆる世代がランダムに混り合っこそ本当の学習場であり活力になると思う。世代間の交流。他団体との交流。(75歳以上女性)
- 子どもから大人、老人すべてがつながる必要を感じます。生涯学習の実施にあたって参加者の壁ができぬよう、地域の学校や企業、役所の施設を利用していくとよいと思います。学生や従業員のいる時間帯にあてて開催すると広まると思います。いろいろ難しいところもあると思いますが。(40代女性)
- 「体操」や「コーラス」などその他でも、なるべく参加していますが、参加者が圧倒的に女性が多い。「コーラス」は別として、参加は男性だけに限るとか言って募集してみたらどうですか？(75歳以上男性)

# 学びの内容やサークル活動に関するご意見

- 仕事にも活かせる学習講座があるとうれしいです(20代～30代)。(30代女性)
- 立川市は国の機関が集まってきていて、商業施設も充実していて恵まれていると思いますので、それを活かすことができると思います。2020東京オリパラでも社会貢献のチャンスがあると思いますし、国内の災害被災地の復旧復興に関わる活動につながるような、学んだことを社会に役立たせる仕組みがあるとやりがいが出てくるし、お互いに助け合うことができて良いのではないのでしょうか。個人的には動物保護を被災地救援を両立させるような、例えば殺処分からレスキューした犬猫等をレスキュードックやセラピーアニマルに育成するような、活動に関わりたいです。そのような育成のための市民向け講座やボランティアのプログラムがセットであるとありがたいです。(60代前半男性)
- 著名な大学の著名な先生の講座を高いお金を出して開講してもほとんど役に立たない。その講座を学ぶことで社会に貢献できたり、本当に実になるようなことを学びたい。何歳になっても楽しく学びそれを発表できたりより向上したいと思えるような学習の機会をぜひ作って欲しい。そしてそれを分りやすく伝えて欲しい、そういった情報は全くといって知らなかった、どこで得られるのですか？(50代女性)
- 外国語講座(例、韓国語)の導入なども検討してはどうでしょうか。災害時のリスクコミュニケーションを考える上でも外国語を理解する市民の増加に重要であると考えております。(40代男性)
- 定年延長により生ずる勤務(収入)の必要性に応ずる能力を学習することで年金開始延長に対抗できる。俗にいわれるセカンドキャリアを目指せることになり本人の意識も向上して来ると考える。(60代後半男性)
- 現状のシルバー大学は1～2年で卒業となりますが、その後も大学院として継続出来る、専門講座があれば良いのでは…特に技術的講座です。人材育成になるのでは…(75歳以上男性)
- 生涯学習で学べる選択肢を増やしてほしい。(40代女性)
- 講座が終わってからの仲間作りをサポートするしくみを充実したらと思います。(75歳以上女性)
- 公園や空地などで少人数でいいから体操が出来たらよい。声を出すことは良いので気楽に歌えるコーラス(童謡、唱歌)などの集いの場がほしい。(70代前半女性)
- 健康維持、地域の方との交流のためにもラジオ体操(早朝、毎朝でなくても)を希望します。学校のグラウンドや地域の空地、公民館などが利用出来ると良いですね。(70代前半女性)
- エッセーを書く教室があれば良いかなあと考えます。昔、立川駅の最上階で開いているカルチャーセンターに行った事がありますが授業料がない。文章を書く基礎的なことをもう一度勉強したい。(75歳以上男性)
- 高齢化、夫婦で過ごしています。健康管理や体操等学べる機会がありましたら参加致したく思います。(70代前半男性)
- 立川市在住の知り合い、友達を作れる場所を提供してください。(30代、性別無回答)
- 活動する団体で知り合う場としてはとても良い事だと思いますが、会話の内容によって(宗教の話)は活動に参加しなくなることも多い様な気が致します。その様な経験があります。(60代後半女性)

## 講座の運営方法等に関するご意見

- 定員が少ないことが見受けられるので定員か講座回数を増やす仕組み作りをお願いしたいです。(30代女性)
- 強制ではなく企画力でエリア問わず参加できるようなものを充実させてほしい。(40代女性)
- 市の行ってくれた離乳食講座は非常に有りがたかった(妻が参加)しかし座学+実技で拘束時間が長く、子どもを連れての受講はなかなか大変だったという。例えば、座学はインターネット、実技のみ現地で受講するという形式をもってとらえると短時間の受講で済み負担が少なくなるのではないかと思った。(30代男性)
- 多種多様なもの、同じ内容の物でもくり返し行うことで取得できるものもあるので検討していただきたいです。(40代女性)
- 歳をとればとる程、学習に対して億劫になってしまい、年配の方の知識不足により仕事に支障が出ることもある(特にIT関係)企業と提携して働きながら学べる場所を増やしてほしい。インターネット上で問題が出て来て、1日5分の簡易テストなど。(20代女性)
- きらりの講座はほとんどが単発もの、シルバー大学のように1年間継続するような講座は充実した内容になるのであった方がよい。(75歳以上男性)
- ①私は主婦ではありません(正規会社員)平日にそういった類の講座etcが充実していたとしても参加するのは困難です。  
②「全〇回」ではなく、趣味としてずっと続けられるものがあったらよいと思う。(スキルアップ等の講座は除く)(40代女性)
- 市民にわかりやすく、取り組みやすい施策を考えて下さい。市職員が実施現場に足をはこび、今以上に体感したらどうか？市民の参加率を上げる為になにをしたら良いのかを常に考えて頂きたい。(40代男性)
- 市民の生涯学習については、専門家、専門職員によって行われるべきだと思う。素人による教えはさまざまな意味で危険である。立川市内には研究所や国の公共機関が多く、近隣には大学も多い。これらの専門家をお願いして積極的に取り組むのが良い。(40代男性)
- あまりしくみを作ると参加しづらくなるので、ある条件の下、団体ではなく個人としていつでも参加出来る個人同士の出会いの場があると良い。(60代前半男性)
- 私は生涯学習のサークル参加しているのは市外です。東大和市は保育室など託児に力を入れてくださっていたのですごく良かったです。私の行っているサークルは半数が立川在住の方です。(40代女性)
- 一人で学習や運動を継続するのは難しいことなので講座や教室を行ってもらい、学びたい時に学び、運動したい時に運動できる環境を作ってもらいたいです。また(28)でも回答しましたが学校施設等を開放してもらい、学習や運動の場所も作ってもらいたいです。(30代男性)
- 生涯学習にも様々あるなどは思いますが、市、市民がもう少し盛り上がる為に少しハードルの低い講座を生涯学習のスタート地点として設けてみては？簡単なDIY、女性であれば美容(スキンカラー診断、パーソナルカラー診断、ネイル等)多くの方が興味あり内容も難しくない講座が増えれば「とっかかり」として申し込む人が増える気がします。あとは「全何回」よりは単発の似たような講座を並行して設けると良い気がします。単発で楽しければ「全何回」という講座にも申し込みやすいと思います。市が活性化するよう願っています。(30代女性)

# 「生涯学習という考え方や理念」または事業等に対するご意見

- 市内の自治会取り組み、気軽に参加できるよう声をかけ合う、まずは少人数から始め学習項目を増やし人数拡大を広げる。(60代後半女性)
- 会社員をリタイアした後に必要になってくると思います。(40代男性)
- 生涯学習という考え方には賛成だが実際に利用できるのは金と時間をもちあわせた年寄りだけであるように見える。若い人間が自分の時間もとれず働いてる中、年よりは自分の人生を楽しんでいる。たいして苦勞をしていない世代が得をする状況はいつまでも続くと思うと憎しみしか生まれない。生涯学習への取り組みを進めるなら若い人間には安く年寄りには高額な設定にして少しは若い世代に還元してほしい。苦勞もしていないバブル世代や年寄りの豊かな老後などゆるせない。そのような考えがあると彼らに学教してもらいたい。(30代女性)
- 文章にめりはりがないので、アンケートを返答する気が途中でなくなる。(文字の大小をつけるなどができないのだろうか?)市民本人の問題なので役所からは場所を提供すればいいと思います。(当然、若干のスタッフは必要だと思いますが)(40代男性)
- 生涯学習推進センターの拡大(20代男性)
- 生涯学習は個人の生活や知識を豊かにする為のもの、というイメージでしたが地域社会に役立てるものという発想はありませんでした。興味はありますが仕事と家庭との時間を考えると重要性は下がる為、自分と同じ立場の方がスキマ時間で身に付けた知識を地域に還元している事例など目にするともう少し現実的に考えられるかもしれません。(30代男性)
- 学習は個人が取り組むものでそれを市が支援するのは今ひとつよくわからない。(50代女性)
- 地域やまちのつながりがすくない時代なので無理に費用を使用してやる必要性はないと思います。やりたい人は自分で探してやると思うので。立川市として生涯学習を推進するのは「なんのため？」なのでしょう？地域やまちのため「なにかをする」というのはあなたたち市役職員の仕事なのではないのでしょうか。(30代男性)
- 学習には金銭的余裕や心の余裕が必要だと思っています。お金がない人、忙しい人など余裕がないと調べる機会もあまりなさそうです。まずは豊かになり学習をしようとするキッカケ作りが大事だと思います。職に就いてない人などをまずは外に出させる必要があると思います。(20代男性)
- 例えばボランティアなど小さな内から体験していなければ大人になってから急にボランティア精神が身に付くことでもないので子供の頃からの体験学習が将来に影響すると思います。同様に生涯学習も小さい内から自ら興味を持って調べたり学んだりする習慣は大切だと思います。又、大学の公開授業などを一般の人々にも参加出来る様にするなど有ると大学に行きたくても行けなかった人達が学ぶ機会を得られると思います。(40代女性)
- 生活に余裕がないと生涯学習という考えはでてこない(時間的にも金銭面でも)子育て世代では、子どもが体験できるもの、もしくは子と一緒に参加できるものが参加しやすいです。南口の方で行われるものは参加しにくい。学校など身近な場所での取り組みを増やしてほしい。自分は仕事と家事、育児で精一杯の毎日でそこにプラス生涯学習ということは考えづらいですが、同世代の同じような条件の人でもどんな風に生涯学習にとりくんでいるのか知ってみたいです。(30代女性)

- 人間が年齢に関係なく持っている「知的好奇心」や「学びたい・知りたい」といった欲求に対して、「生涯学習」といった取り組みで、何とかそれに答えようとする試みに大変頭が下がります。少し考えただけでも問題は山積みかと思えますし、私などが想像もつかないご苦勞もおありでしょう。しかしながらこの活動によって多くの人々の生活が豊かになり幸せになっていることは間違いありません。携わる全ての方々のご尽力に敬服いたします。まだ自分の年齢では人様に教えるレベルにまで達していない為、教わる立場ではありますが、年齢を重ね、概ねの仕事が出来るようになり且つ時間に余裕が持てるようになった暁には自分の知識と経験をいずれは人様のお役に立てられれば良いと思っております。(40代男性)
- 現在、社会人でフルタイムの仕事をしています。図書館によく行きますが、生涯学習のチラシも見かけますし、併設の公民館で活動をされているのも立川市が熱心にされていることも伝わっています。ですが実際に参加した時に、リタイア組に気を使うのだろうか、またレベル問題、近所の人もいるだけに学習以外の側面が気になります。提案としては外部講師のレクチャーのオンラインによる配信(放送大学他、資格の学校で採用されています→会員制のYouTubeのようなシステム)があるとコンテンツとして楽しむことが出来ると思います。(40代女性)
- 生涯学習を収益に結びつく事業と絡めて展開して下さい。スキルド、アンスキルド双方がかせげるシステムと連携すれば、楽し本気でボケずに出来る生涯学習のモデルにつながり、収益を市にも還元してくれると思います。基本、稼げないと楽しめない。(40代男性)
- 区役所で生涯学習に携わる仕事をしています。私の区では「かつしか区民大学」を参考にしています。HP構成も仕組みも非常にわかりやすいのでもし見たことがなければ見てみてください。(30代女性)
- 生涯学習という名称がよろしくない。生涯学習と聞くと定年退職をして暇をもて余したご老人が寄り集まって駄弁りながらゲートボールをする様が思い浮かぶ。技能を身につけたい、機会を得たいと思う若者は、勉学に対して向上心を感じられる活動に参加したいと思うだろう。(20代男性)
- 生涯学習という表現が判り難く、市の掲げるスローガンも曖昧で響きません。市内施設を開放して、体験講習やスポーツ支援を積極的に行うだけで目標に近付くと思います。(30代男性)
- アンケートの内容が健常者向けで感覚としてしっくりときませんでした。障害者に向けて就労の場、スポーツ・レクリエーション活動の場づくりを今後、立川市はじめ公的機関が積極的に推進してほしいと考えます。NPO団体に助成・補助して障害者の生涯学習を支援していくことが大切ではないかと感じます。(70代前半男性)
- 社会教育や学校教育にもっとお金をかけてください。誰でも使えるホールや教室を用意し整備充実してください。管理とか責任とかで使いにくい状況があります。もっとオープンに設備や物品を借りれるしくみを作ってもらいたい。団体だけでなく個人でもいろいろな専門技能や知識を持っている方が立川にもたくさんいらっしやる。その方々が活躍できる場を作って欲しいと思います。民間(大学等)で受講料をたくさん払っている講座はそれなりに魅力があります。もっと身近に学べたらと思います。(予算が乏しいですね)(60代後半女性)

- 立川市に大学を作る。高層の建物ではなく低層で、街中にキャンパスを点在させれば、より市民が生涯学習を知りやすくなったり、活動しやすくなったりすると思う。大学があれば若者もより多く立川市を利用したり住んだりしより不動産価値(地価)も上がるかもしれない。(30代男性)
- 市民がいつ学びたい/学ぶ必要ができたと…は分からないので、その時まで市の取組みが続くことが必要だと思います。そのためには市は情報の集積と提供のしくみを作り続けることを続けてほしいと思います。実際の活動はサークルや民間の教室などにまかせその橋渡しをしていくとよいと思います。(40代男性)
- 活動の内容やそれぞれの活動は多岐に亘りすべてを市が把握することは無理である。横断的に呼びかけ連携をすることが大事である。(75歳以上男性)
- 自分の必要とするレベルの技術は専門性が高いので、市の方で講師を養成して講習を受講することは難しい。それよりも個人で専門書を購入する本の金銭的な支援をしてくれたほうが良いと思った。(60代前半男性)

## その他、生涯学習に関するご意見(1～6に分類しづらいもの)

- 私のまわりは私より年上の方が多。ゲートボールなどいろいろなさっている。テレビを見て年寄りが万引きをしたり、目の前でコンビニの倉庫に入ってカップライをしたりして心もお金もまずしいと思います。皆でお話しながら何かをつくり内職でお金を稼げれば生涯学習を出来るのではないかと思います。外国にお金を集めて勉強させる前にいま身近の人達に目を向けるべきだと思う。(60代後半女性)
- 横文字もけっこうであるが、提案者が読み書きの指導力がゼロでは？指導者にもっと力をつけよ！横文字の完全理解が最っ先だよ！提案者のホンネが必要だ。(75歳以上男性)
- 社交ダンスに関して2年間学習すると将来、再挑戦出来ない規則になっています。男性が少ない様でするので規則を変更したら如何ですか？(75歳以上、性別無回答)
- 取り組みをやる人数。世代が幅広いもの、若い世代が取り組める、活動できるもの。SNSでの情報発信。自分の特技、趣味を活かせる場。(40代女性)(注:内容が箇条書きで多岐にわたるため、ここに記載しました。)
- 立川市で発行している「防災ハンドブック」を活用して市内各自治会主催の勉強会を開催して共用する。市職員のサポートにより広く住民の連携を図り役立てる。(60代後半男性)
- 現在の子供達はしつけがなっていないと思います。私達は教育で厳重にやらせられ、それが今になって考えると有難かったと思います。とにかく子供達には大人達の将来を考えればいろいろ体験談など話をきかせる事がいいと思います。(75歳以上女性)
- 1.生涯学習登録団体で実際活動している団体へ、活動推進を推進団体には(人数等に応じ)活動金を交付して(簡易な報告書で)支援する。2.市の担当へ注文つけると従来の手続きで交付された補助金を次年度打ち切るなど市の担当で対応が違うと聞いている。(70代前半女性)
- 中央図書館の利用日を増やすこと。図書館の目的の中に観光・避暑等、市民の憩いの場としての機能、性格を前面に出して集える場となて欲しい。現状は図書館で働く人の為に運営している様に見える。利用者の為の視点に変えて欲しい。立川市史を編さんしている様だが、何をしているのか皆目わからない。もっと情報、研究状況を公開して欲しい。既に立川市史があり、その成果を生かした活動あり、市民が育ってきているはず。一部の人達だけで市民の力を生かすことなく造らないで欲しい。(70代前半男性)
- 図書館の分館を増やしてほしい。蔵書数が少ないと考える。市内に夜間中学校の新設や夜間定時制の復活を東京都教育委員及び市教育委員会に要請すべきである。人権問題や公害問題、基地問題等を考える施設が市内に不十分である。(50代男性)
- 初等教育から生涯学習の意義・役割を子供達に伝えることも大切だと思います。個人的には生涯学習の広がりからリカレント教育が一般的になる社会を望んでいます。(50代男性)

- 人生の出発または進行形の人にはこれはほんとうに良い調べですが、今日本が大きな問題は人生のラストに来ている人達、今は子供に頼れない時代、これを進行形の方に何かして下さいとは申しませんが、誰もがラストに行きつく時が来ます。どうかあなた達はこのやるせない人生の老人にならない事を今から考えておいて下さい。(75歳以上女性)
- 立川市を国際都市にするためにひろい土地を利用して、各国の留学生と立川市民が交流し、学び合える施設を作る。(75歳以上女性)
- 生涯学習は自由だが、自由な時間とお金がない、色んなアクティビティーができるように、例えば、立川市民は昭和記念公園の入園料がタダになる日を作ると自然と立川市民での交流ができるのでは？(30代、性別無回答)
- 市内だけでなく隣接自治体との連携も進めていって欲しいです。(市外の方の講座参加等)(40代男性)